

すみやすい星へ今日からできること

ゴミの減量とリサイクル

自分たちの星の環境問題に気がついたそらちゃんとうみくん。

いっぱいいっぱい、お勉強したりくちゃんは言いました。

「どうしてこうなってしまったか、わかりましゅか？」

そらちゃんが答えました。

「モノをたくさん買って、捨てていたから」

うみくんも答えました。

「大切に使ったり、工夫したらよかったです」

そうです。環境破壊の原因は、私たち一人ひとりなのです。

「ではぼくたちの星のために、今からできることをするのでしゅ！」

そらちゃんとうみくんは、まずはごみをキレイに片づけ、

ごみの中にもう一度使えるものはないか、探し始めました。



「りくに言われて反省することがいっぱい。私はごみを“分ける”ってことからはじめるわ。きちんと分けたモノは資源として再利用しやすいのよね。私が気付いたリサイクルのために自分ができることを紹介するね」

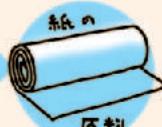
リサイクルしよう！

リサイクル 社会の取り組み 「容器包装リサイクル法」って何？

ガラスやペットボトル・缶などの容器包装のごみを、私たちが分けて出すことにより、そのごみを製造メーカーや専門業者へ引きわたし、もう一度商品として再生したり、製品の原料として再利用しようと決めた法律。愛媛県内でもペットボトルとガラスのリサイクル事業が平成13年からスタートしています。県内で分別収集に取り組む市町村も増えています。



読み終わった新聞や雑誌、段ボールなどは、種類別に分けて回収してもらう



紙は種類別に溶かしてバルブにして、紙の原料になります



ペットボトルは中をゆすいで、ラベルやフタをはずして回収してもらう



ペットボトルは粉末状にして溶かし、フリースの洋服など繊維製品へと生まれ変わります



空き瓶は、中をゆすいで、フタをはずして回収してもらう



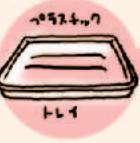
ガラスは溶かして、もう一度ガラス原料に生まれ変わります



空き缶はスチールとアルミニウムに分けて、それぞれ回収してもらう



それぞれ溶かしてスチール缶は鉄に、アルミニウムはアルミニウムにして、製品の原料にします



食品のプラスチックトレイは洗って回収してもらう



プラスチックトレイはペレット状にし、もう一度プラスチック製品へと生まれ変わります



生ごみから生ごみ以外のものをとりのぞく



コンポストなどの装置や微生物を使って分解し、土の栄養分にします